



～ほけんだより～

水筒のカビをやっつけよう！！

No.108

R6年 9月

封戸保育園

蒸し暑い日が続いています。この時期、心配なのが熱中症ですが、予防に有効なのは何といたってもこまめな水分補給です。毎日使う水筒は清潔に保てていますか？パッキンなどの部品が多く、なかなか洗いにくい物ですが、お手入れ方法をまとめてみました。普段のお手入れの参考にしてくださいね。

＊水筒のカビを飲んでしまうとどうなるの？＊

カビが発生した水筒で飲み物を飲んで、カビが体内に入ったとしても大人の場合は胃酸で死滅するため健康に影響は少ないようですが、**カビとともに付着した様々な菌による食中毒の危険性**もあります。特に**抵抗力の弱い子どもは体調をくずしてしまったり、カビアレルギーを発症したりする場合があります**ので、清潔にするように注意しましょう。

＊水筒の正しい洗い方＊

- 水筒をパーツごとに分解して水で洗います。
- 中性洗剤（食器用洗剤）をつけた柔らかいスポンジで細かいパーツも洗います。
- 水筒の内部や底は水筒用の柄付きのスポンジで洗いましょう。
- ゴムパッキンやフタの溝は、小さめのブラシや、つまようじを利用すると良いです。
- よくすすいだらしっかりと乾燥させましょう。



＊お手入れでやってはいけないこと＊

- ✖ 熱湯で煮沸消毒する・・・部品をいためたり、変形したりする可能性があります（取扱説明書を確認しましょう）。
- ✖ 塩素系漂白剤を使う・・・サビや穴あきの原因になる事も。ステンレス製の物には酸素系漂白剤を使いましょう。
- ✖ 金属たわしでこする・・・傷がつきやすく、サビの原因になります。

★水筒によりお手入れの方法は違います。それぞれの取扱説明書を確認しましょう。

＊水筒についてのカビの落とし方＊

• お酢か酸素系漂白剤で洗浄

洗い桶に30～50℃のお湯を入れ、酢を加えます。（お湯500m lに対し、酢50m lが目安）

酢で落ちない場合、40℃のお湯500m lに対し、5m l 弱の酸素系漂白剤を入れて洗浄しましょう。

• お酢や酸素系漂白剤の液に水筒のパーツを浸していく。

酢を入れた液にはゴムパッキン、フタ、水筒の本体をすべて浸します。酸素系漂白剤を使う場合はフタとゴムパッキンのみ浸し、水筒本体はすすぐだけにしましょう。つけ置きしてしまうと表面のラベルがはがれる原因になります。30分を目安につけ置きしたら水かぬるま湯でよくすすぎ、しっかりと乾燥させましょう。

- ゴムパッキンの頑固な汚れにはクエン酸を使用。一晩つけ置きするとすっきり落とせます。
- カビ臭いにおいを落とすには重曹を使います。ゴムパッキンも一緒に一晩つけ置きしましょう。



★水筒は毎日使うものだからこそ、清潔にしておきたいですね。水筒に発生してしまったカビは集中的なお手入れできれいにする事はできますが、普段から正しい方法でお手入れを続ければ、カビも発生しにくくなりますよ。おいしく安全に水分補給ができるよう、水筒のお手入れを習慣づけて清潔に保ちましょう。